

自分を大事にするって

4年 H・Tさん

「悠介はもっと自分を大切にしないといけません。」周りに合わせて行動しようとしている悠介の態度を見て、ミンミンが悠介にかけた言葉だ。続けてミンミンは、「自分を大事にしないと、ほかの人を大事にできません。」この言葉に私ははっとした。私自身、気がつかないうちに相手を思いやることと、相手に合わせることを混同しているのではないか。ミンミンは、悠介が中国に行った時に知り合った母親と同じ年くらいの中国人の友人だ。子どもを失ってしまったつらい過去があるミンミンだから、自分の子どものような悠介には、周りに合わせるのではなく自分の気持ちを大事にしてほしくて言ったのだろう。

ミンミンの兄がいる大阪でも海に行ったが千葉の海と同じように海に似合わないかっこうできたミンミンに悠介は腹が立ち自分の気持ちをぶちまけた。悠介の気持ちを知ったミンミンはサンダルを買った。ミンミンは、日本の海の空気を読み、周りに合わせようと思いついた。サンダルを選んだのではなく、自分の気持ちをぶつけてきた悠介の気持ちによりそうためにサンダルを買ったのだと思う。

ミンミンはいつも自分の気持ちにまっすぐだ。周りを気にすることなく、自分がしたいことをする。だから人とぶつかることもあるだろう。悠介のように空気を読むということとは、周りに合わせるから、ぶつかることもないし、エネルギーも使わない。だけど、空気を読んではかりいたら、お互いを知ることでもないのではないか。

悠介とミンミンには文化のちがいがあつたが、日本人同士でも育ったかんきょうのちがいはあるから、人と人が気持ちをかよい合わせるのに、大事なことは、空気を読んで相手の気持ちを知るのはなく、自分の言葉で思いや気持ちを伝えることが大切なのだと思う。

夏休み明け、クラスの空気を読み人に合わせるのではなく自分の言葉で自分の気持ちを伝えて自分のことも友達のことでも大事にできる自分になりたい。